

(様式5)

令和4年度学校運営協議会委員評価報告書

学 校 名 湯梨浜町立泊小学校

校 長 名 栗原 歳盛 印

評価日 令和5年2月21日(火)	
評価・提言	学校の所見・改善策等
(1) わかる授業の創造と確かな学力の育成 ・「授業研究会を授業力向上に生かした」ことへの教職員評価がほぼ全員がAの自己評価であることから、いい授業づくりに向けて協力し合って頑張られたことが分かる。 ・「学校の勉強はだいたいわかる」「話し合うと勉強がよくわかる」について児童評価も高いことから児童の前向きな学習への取り組みを感じる。 ・学習の様子を見ても、落ち着いて学習し、先生の投げかけに対してよく考えていた。 ・「A」評価であると捉えるが…9名 (2) 豊かな心の育成 ・職員が児童への理解をもとに接し方や指導を工夫されていることが分かった。言葉遣いや友だちとのトラブルに対して、よく取り組んでおられると思う。 ・人を思いやる気持ちを持っている子どもたちなので、一人一人の良いところを伸ばしてほしい。 ・校内での評価が厳しいのか、課題がまだ残っているのか、先生方がしっかり取り組んでおられることは伝わってくるが、評価をもっと高く評価できるのではないかな。 ・下校時に横断報道を渡った後、ぺこりとお辞儀をした低学年児童の姿がうれしかった。地域でのあいさつや言葉遣いが良いと地域も元気が出るので共に取り組んでいきたい。 ・児童クラブで児童の様子を見ているが、全体的に「豊かに育っている」と感じている。各学年の仲もとてもいいことを感じる。 ・「A」だと捉えられるが…8名 (3) 健やかな体づくり ・業間運動の時程のない中で、体育の授業や運動への意識づ	○授業研究会を通して、授業改善を目指し取り組んできた。特に「共通して実践していくこと」を明確にし、学年部会でも振り返りながら授業づくりを進めた。児童も職員も肯定的に取り組みを捉えている。今後、学力検査の課題を分析しさらに改善していきたい。研究では、つけたい力を明確化し、施策や重点を絞っていき次年度に生かしていきたい。 ○仲間づくりを核として人権教育、学級経営を学校全体として目標を共有し取り組んでいく。 ○家庭との連携はとても重要だととらえている。常に保護者の思いに耳を傾け、連携して取り組めることを探っていく姿勢が大切。 ○地域と「双方向」の連携をさらに意識して取り組んでいきたい。次年度は地域交流活動に多く取り組んでいきたい。

けをする指導に取り組まれ、「日頃から運動（体を動かすこと）に心がけている」についての児童評価が昨年から増えている。 ・食育や健康指導も短時間での取り組みをたくさん取り組んでおられることが分かった。 ・読書、家庭学習や早寝早起きなどに課題があるようなので、保護者と連携して少しずつでも改善していければと思う。 （４）ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり ・ひとりひとりメッセージを伝え合う感謝集会はとても良かった。児童が地域で暮らす土台となる地域の支えを感じていると思う。 ・情報発信や外部人材を活用した特色ある教育活動やふるさと教育が効果的に実施できていると思う。コロナ禍ではあったが積極的に地域に出かけて、泊ならではの体験ができるよう取り組まれていてとても良いと思う。	○児童が地域にさらに深くかかわったり、地域の願いや思いを生かした体験活動をしたりするなど、計画していきたい。探究的な活動を入れたカリキュラムを構成していく。（総合的な学習、社会、行事、ふるさと学習）
--	--